昭和56年 3 月20日580号

千代田区のおしらせ

東京都千代田区役所(九段南一丁目6番11号)電話(264)0151(大代表)郵便番号102

3月5日に行われた落成式〈会議室〉5階

落成を記念して行われた商工展〈展示室〉2・3階

会議室(5階)

資料室(4階)

教養室(5階)

区内中小企業の育成・発展の場

区立産業会館 落成

商工展も同時開催

「千代田区立産業会館」が完成し、3月5日㈭、これを祝って、落成式と「商工展」が開催されました。

この産業会館は、区内中小商工業の振興発展と勤労者の福利増進を図るための施設として利用していただくものです。

商工展には、5日から7日までの期間中、約3,000人のひとが訪れました。

会場では地場産業をはじめ、区の伝統産業である印刷、製本関連業種の歴史的な歩みなどを紹介。

会場を訪れたひとびとは、印刷機や和とじ本の実演に見入る一方、ビデオやコンピューターなど、時代の先端をゆく技術にも関心を寄せていました。

第１回区議会定例会始まる

新年度予算 総額189億8,945万円を提案

加藤区長 所信を表明

新年度事業 6つの柱
- 社会福祉の充実
- 中小企業の振興
- 学校教育、社会教育の充実
- 人口減少防止対策の促進
- 区民の健康増進
- 防災対策の充実

昭和五十六年第一回区議会定例会が、三月五日から二十日間の会期で開かれ、総額百八十九億八千九百四十五万六千円にのぼる新年度予算案をはじめとして、十三件の議案の審議が行われています。

三月五日の本会議で、加藤区長は開会のあいさつを行い、区政運営の所信を述べるとともに、新年度予算に盛込まれた重点事業の内容を明らかにしました。

そこで、区長あいさつの要旨と新年度予算に盛込まれた重点事業の主なものをご紹介します。

区民の信託に応えて 区政発展に全力を傾注

昭和五十六年第一回区議会定例会の開会にあたり、私の区政運営における所信の一端を申上げます。

まず、先般行われた千代田区長選挙において、区民の多数の方々のご支援を賜わり、栄えある千代田区長に就任しました。

永い歴史と伝統に培われた首都の中心地、千代田区政を担う立場とその重責を自覚するとともに、感激を新たにしているところです。

特に、就任以来の執務を通じて、区政はまさしく区民のためのものである、という認識を一層深めるとともに、地方自治の基本理念に基づく行政の執行を痛感しています。

今後は、これらの認識のうえに立って本区の現況を的確には握し自主的行財政運営に意を用い、区民の信託に応えて、千代田区政発展に全力を傾注する所存です。

さて、地方財政においては、国の五十六年度地方財政計画にみられるように、昨年に引続き抑制型となっており、財政をとりまく状況は厳しくなっています。

特に、都財政においては、引続き財政再建の途次にあり、そのため種々の方策を展開しています。

さきの都区財政調整においても、都区の財源配分を巡り都側から補助事業及び国保会計交付金の新規算入の要請、また、区側からのコミュニティ施設及び、校舎改修等の要求など都区双方の要望が錯そうし、その調整に難航しました。

なお、この際に、本区の長年にわたる主張である昼間人口需要の算定が、都及び各区の合意を得て導入されましたが、措置が十分でないため今後とも引続き財調の改善、特に、都区間の財源配分並びに区相互間の財源調整においても、本区の特性に応じた財政権確立のため努力してまいりたいと存じます。

今後においても、都財政及び都区財政調整の動向は、少なからず区の行財政に影響を及ぼし、行政運営は従来にも増してより厳しい選択が迫られるものと思われます。

区政は、こうした社会経済状況に対応し、適切な施策を進めなければなりません。

そのためには、長期的な展望に基づき総合的計画的運営が必要であると認識しています。

従って私は、故遠山区長の策定した基本計画を継承するとともに、充実発展させ、これの実施計画の策定執行を通じて真の区民のための区政を進展させたいと存じます。

ここで、今回策定した実施計画の概要について申上げますと、本計画は、五十五年度から五十七年度までの行財政運営の指針となるものであって、夜間人口の減少防止、区民の生活環境の向上、区民福祉の向上の三つの基本課題を中心として、計画的施策の選択と、計画事業の修正補完を骨子としてローリングを行ったものです。

五十四年度計画に比べて、計画事業項目で七事業の増をはかり、新規計画事業十一項目、及びレベルアップ等、七項目の計画化を図りました。

特に、五十六年度に計画化された施策については、本年が国際障害者年にあたるため社会福祉の向上を図るとともに、区内中小企業の振興を図る施策を行いました。

このほか、教育の一層の拡充を目指し、条件整備を継続し、さらに、人口減少防止と増加に向けての施策を選択しました。

また、区民の健康と安全を守る施策の推進を図ったところです。

以上の状況を踏まえ、昭和五十六年度予算編成にあたっては、実施三か年計画の予算化を通じ、区政の推進と区民福祉の向上を図った年間総合予算を編成しました。

この結果、昭和五十六年度一般会計予算総額は、百八十九億八千九百余万円と相成り、前年度と比較すると、十九億三千四百余万円、十一・三%の増となりました。

しかしながら、都区財政調整の区別算定が未決定ですので、五十六年度予算は一応年間予算として計上しましたが、今後のご意見、ご要望等を踏え、早い機会に執行体制、財政状況等を勘案のうえ計画事業のローリング等、所要の補正措置を講じてまいりますので、ご協力賜わりますようお願い申上げます。

新年度の主な事業

社会福祉の充実

神田東部地区に児童福祉施設を建設

社会福祉対策については、障害者に対する社会の理解と認識を高める啓発と、障害者の手づくり作品展を開催し、広く区民との交流を図ります。

また、心身障害者の健康保持のために、療浴サービスを新たに実施し、ろうあ障害を持っているひとには、緊急の意志伝達のため、ろうあ者緊急カードを作成し、障害を持っているひとに配ります。

さらに、昨年十二月の四番町保育園の開設に引続き、神田東部地区に児童福祉施設を昭和五十七年度中に完成させる予定のほか、寝たきり老人の介護人や幼児の保護者が病気などになった時に対応するため、緊急一時保護・保育を実施します。

中小企業の振興

営業資金の貸付限度額を拡大

区内中小企業を側面から援助するため、営業資金の貸付限度額の引上げや、融資目標額の増額など、商工融資の充実を図ります。

また、区内中小企業の育成・発展の場である産業会館が開館したことにより、今後、経営講習会などを開催するほか、経営診断の充実を図るなど、中小企業の振興を図る施策を行います。

学校教育 社会教育の充実

佐久間小学校の改築に着手

学校教育の面において、前年度に引続き一橋中学校の改築に取組み、昭和五十七年度完成をめざすほか、佐久間幼稚園および佐久間小学校の改築のための調査を実施するなど、教育環境の整備を図ります。

また、伝統ある千代田区を深く理解し、秀れた文化と伝統を守り育て、次代に引継いでいくため、郷土史講座を開講します。

さらに、区民が身近な所でスポーツが楽しめるよう、新たに中学校二校を開放し、学校開放の充実に努めます。

人口減少防止対策の促進

一番町・内神田住宅の建設に着工

本区の最重要課題である人口減少防止対策としては、昨年二十三区で初めて完成した、九段および四番町住宅に続き、一番町および内神田に合せて九十余戸の区営住宅建設を進めていきます。

さらに、夜間人口の減少防止と増加を図るため、本年一月から実施している住宅資金融資あっせん事業については、そのあっせん資金を増額し、住宅取得の促進を図り、また、区民の住宅環境なども含め施設や土地の利用状況の調査を行います。

さらに、再開発事業を積極的に進めるための準備組合に対する助成のなお一層の拡充を図ります。

区民の健康増進

神田保健所改築の設計に着手

区民の健康を守るために区民健康診査における対象年齢の引下げを行うほか、成人病検診として、現在行っている胃がん、子宮がん検診に加え、新たに乳がん検診を実施します。

神田保健所の改築については、保健所機能の拡充を図ることとし、その設計を今年度中に終える予定です。

また、精神面の健康維持に努めるため、広く相談や指導を行う精神衛生相談室を新設します。

防災対策の充実

一時避難場所に標識

区民を災害から守る施策としては、震災時に一時的に避難する小学校や公園などに標識を設置し、非常事態における混乱の防止に努めるほか、五十五年度に引続き地域防災行政無線を設置し、正確な情報の収集と、区民への情報伝達など、情報連絡網の整備を完了するとともに、備蓄物資の整備にも努めます。

また、交通事故の防止を図るため、歩道の設置、拡幅をはじめとして、生活道路の整備を図り、区民の安全を確保する施策を進めます。

●主な提出議案

第一回区議会定例会には、区から十三件の議案が提出されました。主なものは、つぎのとおりです。

・昭和五十五年度一般会計補正予算第四号
　総額二十五億六千二百四十七万四千円

・昭和五十六年度一般会計予算
　総額一億二千十四万七千円

・昭和五十六年度一般会計予算
　総額百八十九億八千九百四十五万六千円

・昭和五十六年度国民健康保険事業会計予算
　総額二十四億九千二百十七万四千円

・東京都千代田区奨学資金に関する条例の一部を改正する条例
　奨学資金の貸付対象範囲をひろげ、福祉の充実を図るもの

・東京都千代田区難病患者福祉手当条例の一部を改正する条例
　難病として一疾病を追加し、難病患者福祉手当制度の充実を図るもの

・災害に際し応急措置の業務等に従事した者に係る損害補償に関する条例の一部を改正する条例

・昭和五十五年度国民健康保険事業会計補正予算第一号

区長にひとこと
電話でどうぞ
ハイ！区長です
☎264-0151　毎月1日と15日
午前10時～11時30分

4月1日～10日
ご家族連れでどうぞ

さくらまつり

“桜前線”の北上にともなって、区内の桜のつぼみもほころび、本格的な春の訪れを告げています。

例年になく寒かったことしの冬もやっと去って、いよいよお花見のシーズン。

桜の花が、はなやかな姿で咲き競うのも、年に一度のこの時期だけです。

それも、ひとたび雨が降り、風が吹き過ぎれば、もう桜のいのちは終ってしまいます。

ひとびとが桜の花の美しさに魅了されるのは、一朝に開花し、たちまち散っていく風情に限りない哀愁を感じるからかもしれません。

この短い期間にだけ見せる桜の花の美しさを、みなさんもぜひ、味わってみてはいかがですか。

＊

千代田区では、靖国神社、神田神社、千鳥ヶ淵ガーデンロードを会場に、ことしも恒例の「さくらまつり」を四月一日(水)から十日(金)まで開催します。

植木市

春の草花、盆栽や植木などが展示即売されます。

とき・ところ

・靖国神社境内
四月一日(水)から十日(金)まで

・神田神社境内
四月一日(水)から五日(日)まで

区内史跡めぐり

区内にある代表的な名所、史跡をバスでめぐります。

とき　四月四日(土)と五日(日)の二日間、両日とも午前十時、午後一時、三時の三回

集合場所　靖国神社境内

定員　毎回百名（先着順）

参加費　無料

コース　（一周約一時間三十分）
靖国神社→市ヶ谷→半蔵門→四ツ谷→清水谷公園→三宅坂→桜田門→日比谷→大手門→小川町→お茶の水→神田神社→万世橋→岩本町→駿河台下→神保町→靖国神社

のんびり花見ガーデンロード

緑の遊歩道としてみなさんに親しまれている“千鳥ヶ淵ガーデンロード”は、桜をはじめとする樹木や草花が植えられ、道石にも工夫を凝らしています。

このガーデンロードには四季の自然を楽しめるようにこまかい配慮が、はらわれています。

咲きほこる桜の花の下、なごやかな気分でお花見を楽しんでみては、いかがですか。

「さくらまつり」についての問合せは、商工課観光係へ。

千代田区ビデオ広報

わがまち千代田
第12号(3月号)放映中

まちの話題や行事など、広報課までお知らせください。

区立住宅あき家入居者募集

富士見・水道橋・神保町・猿楽町・外神田住宅

申込受付けは各出張所で　4月13日～18日

区内五か所にある区立住宅のあき家入居者をつぎのとおり募集します。

申込資格

・昭和五十四年四月十八日以前から引続き区内に住んでいること（住民票で確認できること）

・住宅に困っていること

・同居する親族がいること（一人居できる人員は二名で、未就学児がいる場合には三名まで。ただし、神保町住宅と外神田住宅については二～三名で、未就学児がいる場合には三～四名まで）

・応募世帯の昭和五十四年中の所得（給与所得者は給与所得控除後の額）が六十六万円以上、百十四万円以内（ただし、税法上の扶養親族一名につき二十九万円を加算）のこと

●四月八日から申込書を配布

申込書は四月八日(水)から十八日(土)まで、各出張所と住宅課の窓口、区政案内相談コーナーで配布します。

申込書に必要事項を記入し、収入証明書を添えて、住民登録をしてある出張所に申込んでください。

受付期間　四月十三日(月)から四月十八日(土)まで

受付時間　午前八時三十分から午後五時まで（土曜日は正午まで）

抽せん日時　四月二十七日(月)午前十時から、区役所六階会議室で

問合せ　区民部住宅課

住宅名（所在地）	募集戸数	間取	使用料(月額)
富士見住宅（富士見1－11－10）	5戸	1K（6畳、台所、トイレ）	9,800円
水道橋住宅（三崎町2－22－12）	1戸	1K（6畳、台所、トイレ）	11,200円
神保町住宅（神田神保町2－40）	1戸	2K（4.5畳、3畳、台所、トイレ）	12,100円
猿楽町住宅（猿楽町1－6－9）	5戸	1DK（6畳、台所兼食堂、トイレ） 2K（4.5畳、3畳、台所、トイレ）	12,100円～12,400円
外神田住宅（外神田3－4－1）	2戸	2DK（6畳、3畳、台所兼食堂、トイレ）	13,700円

※全住宅とも浴室はありません。

春の婦人教養講座

申込みは4月14日(火)から直接各区民会館へ

春の婦人教養講座が各区民会館で開講されます。

講座の種類は、書道、料理、墨絵など、趣味を豊かにし、生活にも役立つ八つの講座です。

週一回の講座をいとぐちに、新たな教養をみなさんの生活の中に生かしてはいかがですか。

期間　四月第四週から七月第二週までの週一回（祝日は除く）延十二回

時間　午後一時三十分から三時三十分まで（ただし、富士見区民会館の墨絵と料理の二講座は、午前十時から正午まで）

会場　各区民会館（希望する会場で受講できます）

受講できるひと　区内に住む婦人

受講料　無料（教材費は自己負担）

申込み　四月十四日(火)から受講を希望する区民会館に申込んでください。

初めて受講するひとは午後一時三十分から、以前受講したことのあるひとは午後一時からそれぞれ申込んでください。

なお、富士見区民会館の墨絵と料理の二講座は、午前十時から受付けます。

ただし、受講は一人一科目で、電話での申込みは受付けません。

問合せ　受講する各区民会館へ。

番町区民会館　☎263―三八三二

富士見区民会館　☎263―三八四一

神保町区民会館　☎263―〇七四一

神田公園区民会館　☎252―七六九一

万世橋区民会館　☎251―四八九一

和泉橋区民会館　☎253―四九三一

● 婦人教養講座

科目＼内容	会場（区民会館）	受講日（毎週）	定員	開講日
書道	番町	金曜日	40名	4月24日
	富士見		30名	
	神田公園		35名	
	和泉橋	火曜日	40名	4月21日
料理	富士見	木曜日	24名	4月23日
	神保町	火曜日		4月21日
	万世橋	金曜日	30名	4月24日
	和泉橋		24名	
ペン習字	番町	月曜日	40名	4月20日
	富士見	火曜日		4月21日
	神保町	木曜日		4月23日
着付	番町	火曜日	25名	4月21日
	神保町	水曜日	40名	4月22日
墨絵	富士見	月曜日	30名	4月20日
	万世橋			
茶道	番町	水曜日	25名	4月22日
	和泉橋			
洋裁	万世橋	火曜日	30名	4月21日
編物	神田公園	火曜日	30名	4月21日

はじめてみませんか

硬式テニス初心者講習会

みなさんのご要望におこたえして、区内在住者を対象に「硬式テニス初心者講習会」を開きます。

テニスをこれからはじめたいと思っているひとや、しっかりした技術を身につけたいというひとは、ぜひ、ご参加ください。

期間　四月二十一日から六月十六日まで毎週火曜日（祝日を除く）延八回、雨天中止

時間　午前十時から午後一時まで

会場　東京スカイプラザテニスクラブ（飯田橋二―十八―二）

参加できるひと　区内在住の初心者で毎回参加できるひと

定員　三十名

参加料　二百四十円（傷害保険料）

服装・持参するもの　運動のできる服装（ただし、上下とも白のもの）、ハードコート用テニスシューズ、ラケット、タオル

申込み・問合せ　往復ハガキに「硬式テニス初心者講習会」と記入のうえ、住所、氏名、年齢、性別、電話番号を記入して、四月十日(金)までに到着するように、千代田区教育委員会社会教育課体育係（〒102千代田区九段南一―六―十、☎264―〇五一一）へ。

なお、申込みが多数の場合は抽せんで決めます。

特殊学級などを卒業したひとに

日曜青年教室

特殊学級や養護学校を卒業したひとたちのために、学習の機会と場を設け、社会的な自立へのお手伝いと、うるおいのある生活を過ごしてもらうことをねらいとして「日曜青年教室」を開きます。

期間　四月二十六日(日)から昭和五十七年二月十四日(日)までの毎月第二・第四日曜日

時間　午前九時三十分から午後三時三十分まで

会場　区立社会教育会館（内神田）

参加できるひと

・千代田区の特殊学級の卒業生、または他の特殊学級や養護学校を卒業したひとで、現在区内に住んでいるひと

・ひとりで社会教育会館まで通うことができ、身のまわりのことが自分でできるひと

・団体行動のとれるひと

定員　三十名

受講料　無料（教材費は自己負担）

学習内容　一般教養（読書など）、技能（料理、音楽、版画など）、スポーツ、レクリエーション

申込み・問合せ　四月五日(日)までに、電話または直接社会教育会館（〒101千代田区内神田二―一―八　☎256―八四四四）へ。

豚肉

"産地直送販売"から"消費者サービスデー"に

販売日は毎月第二金曜日　価格は一～二割引き

4月10日から

区民のみなさんの消費生活の安定をはかるために区で実施していた「豚肉の産地直送販売」を、四月から「豚肉消費者サービス事業特売事業」として新たに、実施していきます。

この特売事業は、いままでの産地直送販売と違い、東京都食肉環境衛生同業組合麹町・神田両支部の協力によって、区内の食肉販売協力店が、サービス日に豚肉を平常価格から一～二割程度割引いた価格で、販売するものです。

販売日は、従来の"産地直送販売"と同じで、特売協力店には赤色のノボリがたてられます。

みなさんのご利用をぜひ、おすすめします。

●販売日は毎月第二金曜日午後二時から

区内三十九店の食肉販売店で、毎月第二金曜日の午後二時から、いっせいに販売します。

販売日には"豚肉消費者サービスデー"と書かれた赤色のノボリが店頭にたてられます。

●価格は一～二割引き程度

販売品目は三品目で、販売数量は一店につき十五㌔です。

販売価格は三品目とも、各販売店の店頭平常価格の一～二割引き程度です。

なお、消費者サービス協力店にも価格、種類などを表示したポスターをはり出します。

青果物や魚の"サービスデー"もご利用ください

青果物と魚の「消費者サービスデー」は、いままでどおり実施していきます。

物価高に悩まされる毎日、これらの"消費者サービスデー"を上手に利用してはいかがですか。

問合せ　区民部商工課消費経済係

青果物消費者サービスデー
4月2日(木)・16日(木)
青いノボリの八百屋さんで

豚肉消費者サービスデー
4月10日(金)
赤いノボリの肉屋さんで

魚の消費者サービスデー
4月8日(水)・22日(水)
濃紺のノボリの魚屋さんで

あなたの健康

保健所で春の定期予防接種

神田保健所では、三種混合（ジフテリア、百日ぜき、破傷風）と小児まひ生ワクチンの春の定期予防接種を、つぎの表のとおり実施します。

種別		実施日	対象者
三種混合	第一期 1回目	4月8日(水)	昭和53年10月1日から54年3月31日までの出生者
	第一期 2回目	5月6日(水)	
	第一期 3回目	6月3日(水)	
	第2期	7月1日(水)	昭和52年10月1日から53年3月31日までの出生者で55年春の第1期完了者
小児まひ	2回目	4月15日(水)	昭和55年1月1日から55年6月30日までの出生者
	1回目	5月20日(水)	昭和55年7月1日から55年12月31日までの出生者
	予備日	5月27日(水)	上記の日に受けられなかったひと

ときⅡ四月三十日(木)、午前九時～十時　**ところⅡ**東京都がん検診センター　**対象Ⅱ**三十五歳以上の区民、二十六名（先着順）　**申込みⅡ**神田保健所予防課業務係へ。

麹町保健所　☎212－七八一一四
神田保健所　☎291－三六四一

ときⅡ毎月第一・第三月曜日　午前九時～十時三十分　**ところⅡ**麹町保健所　**対象Ⅱ**せきやたん症状の続くひとやタバコを多く吸うひと　**検査内容Ⅱ**肺機能検査、エックス線検査、血圧測定、尿検査など　**申込みⅡ**電話で麹町保健所予防課業務係へ。

胃の集団検診

ときⅡ四月二十日(日)、午前八時～十時　**ところⅡ**神田保健所　午後一時三十分から三時まで

問合せⅡ神田保健所予防課業務係

なお、麹町保健所管内の定期予防接種については、決り次第「区のおしらせ」でお知らせします。

呼吸器系検診

ときⅡ毎月第一・第三月曜日　午前九時～十時三十分　**ところⅡ**麹町保健所　**対象Ⅱ**せきやたん症状の続くひとやタバコを多く吸うひと　**検査内容Ⅱ**肺機能検査、エックス線検査、血圧測定、尿検査など　**申込みⅡ**電話で麹町保健所予防課業務係へ。

4月の休日診療当番医（内・小児科）

診療時間：午前9時～午後10時　昼印は午後5時まで　夜印は午後5時～10時

5日	東京警察病院	☎263-1371	富士見2－10－41
	神田東診療所	☎864-0200	東神田1－10－7
12日	九段坂病院	☎262-9191	九段南2－1－39
	坪井医院	☎866-7815	神田和泉町1
19日	都築医院	☎261-7116	九段北1－5－5 ニューライフ九段221番
	昼額田内科クリニック	☎291-0989	神田小川町2－10
	夜同和病院	☎251-2141	神田淡路町2－8
26日	広瀬クリニカ	☎234-1357	一番町21
	関医院	☎252-5566	神田多町2－11
29日	新飯田橋内科診療所	☎262-3787	飯田橋2－7－4
	昼岩本町診療所	☎851-8643	岩本町3－4－1
	夜同和病院	☎251-2141	神田淡路町2－8

・健康保険証は必ずお持ちください。
・受診するときは、あらかじめ電話で問合せてください。
・休日診療についての問合せは、いつでも区役所か出張所へ。

救急　夜間・休日の急病は

夜間や休日に急病になったときは、つぎのところへ連絡してください。病院などを紹介します。

消防庁テレホンサービス
☎212-2323

東京都衛生局夜間・休日案内所
夜間（午後5時～翌朝9時）☎216-4828
休日（午前9時～午後5時）☎216-4820

おしらせ

■飼い犬の登録と狂犬病予防注射

犬を飼っているひとは、年一回の登録と年一回（春と秋）の狂犬病予防注射を飼犬に受けさせなければなりません。

昭和五十六年度の飼い犬の登録病予防注射を飼犬に受けさせなければなりません。

なお、あらかじめ動物病院などで予防注射を受けた犬の飼主の方は、当日会場で注射済票（メタル）の交付と登録の手続きをしてください。

●日程

実施日	会場
4月1日(水)	番町出張所（麹町2-14）
4月2日(木)	麹町社会保険事務所（三番町22）
4月3日(金)	富士見出張所（富士見1-6-7）
4月6日(月)	和泉橋出張所（神田岩本町15）
4月7日(火)	神保町出張所（神田神保町2-40）
4月8日(水)	神田保健所（神田錦町3-10）

時間＝各会場とも午後一時三十分から三時まで

手数料＝登録二千円、予防注射千四百円、注射済票三百円

問合せ＝保健衛生部管理課衛生係

■中止します16㍉フイルムの貸出

3月28日から4月6日まで

千代田図書館では、三月二十八日(土)から四月六日(月)までの十日間、十六㍉フイルムの貸出しを中止します。

視聴覚資機材などを最良の状態でみなさんに利用していただくため、この期間に、補修やクリーニングを行うものです。

問合せ＝千代田図書館視聴覚係

■みんなで元気に歩こう会

とき＝四月五日(日)、午前九時三十分区役所前出発　コース＝皇居の内濠一周約六㌔（千鳥ケ淵公園で解散）　参加資格＝区内在住・在勤者　申込み・問合せ＝参加を希望するひとは、当日の午前八時三十分から受付けを開始しますので、区役所前においでください。なお、くわしいことは社会教育課体育係へ問合せください。

■第十二回千代田区空手道選手権大会

とき＝四月十二日(日)、午前九時ところ＝区立総合体育館主競技場　参加資格＝区内在住・在勤者　種目＝①組手は一般、有段、段外の部　②形（型）は小学生、中学生の部　競技方法＝全日本空手道連盟競技規程による　申込み・問合せ＝四月三日(金)の正午までに社会教育課体育係へ。

■陸上競技選手権大会

とき＝四月十九日(日)、午前九時三十分集合、十時競技開始（雨天決行）　ところ＝代々木公園陸上競技場　参加資格＝区内在住・在勤者　種目＝在住男子の部は百㍍、千五百㍍、四百㍍リレー、走幅跳、砲丸投。在勤男子の部は百㍍、四十歳以上の百㍍、四百㍍、千五百㍍、五千㍍、八百㍍リレー、走幅跳、砲丸投。女子の部は百㍍、千五百㍍、四百㍍リレー、走幅跳、砲丸投。出場制限＝一人二種目まで（リレーは除く）　申込み・問合せ＝四月九日(木)までに社会教育課体育係へ。

■四月の野外こども会

一日(水)＝錦華公園　二日(木)＝佐久間公園　三日(金)＝芳林公園　六日(月)＝西神田公園　七日(火)＝神田児童公園　八日(水)＝東郷元帥記念公園　九日(木)＝北の丸公園皇宮警察寮庭　十日(金)＝心法寺（児）平河天神（児）　十三日(月)＝富士見出張所ピロティー　十四日(火)＝錦華公園　十五日(水)＝芳林公園　十六日(木)＝佐久間公園・岩本町二丁目（児）　十七日(金)＝西神田公園　二十日(月)＝神田児童公園　二十一日(火)＝心法寺（児）・平河天神（児）　二十二日(水)＝東郷元帥記念公園　二十三日(木)＝富士見出張所ピロティー・龍閑（児）　二十四日(金)＝北の丸公園皇宮警察寮庭・築土神社

時間は、いずれも午後一時から三時二十分まで。雨天・強風の場合は中止します。

児童館で

四番町児童館　☎234―二〇八四

■劇を見よう！　三月二十六日(木)午後二時から「ドボダボ」ほか（劇団ドンキー公演）

富士見児童館　☎262―二〇四〇

■映画会　三月二十五日(水)午後二時から「サイボーグ009」

神田児童館　☎253―六〇二一

■春休みこども劇場　①映画　とき＝三月二十八日(土)午後二時から「ハックルベリィの冒険より」（確かなる握手ほか一本）　②人形劇　とき＝四月四日(土)午後二時から「八郎」（劇団ブーク公演）

官公庁だより

■都民観光レクリエーション

「神津島、海の幸と天上山ハイキング」

神津島の自然を楽しみませんか。

とき＝四月二十四日(金)～二十六日(日)　費用＝大人一万二千七百円、こども九千六百円　申込み・問合せ＝東京都観光連盟（☎212―八七二七）か伊豆七島観光連盟（☎436―六九五五）へ。

震度6を体験してみませんか
起震車じしん号
じしん号のシンボルマーク
乗車記念に差上げます
申込みは防災課まで

区役所に用事のあるとき
保健所などの施設へでかけるとき
どなたでもご利用ください
区立施設巡回バス
区役所、出張所、老人福祉センター、富士見福祉会館、保健所を巡回します。

やさしく走ろう TOKYO
春の全国交通安全運動
4月6日(月)→15日(水)
☆ゆっくり 走って みませんか
☆待ちましょう はらはら どきどき 渡るより
☆一人でも まちますきちんと 青信号
☆曲がり角 ピタッと止まって 右左

国民年金

四月から保険料が変ります

国民年金の保険料のうち定額保険料の額が、四月から月額四千五百円（現行三千七百七十円）になります。

なお、付加保険料の額は、これまでどおり月額四百円です。

また、一年分（昭和五十六年四月分～五十七年三月分）を前納される方には、つぎのとおり割引があります。

・定額保険料　年額五万二千七百円（割引き額千三百円）

・付加保険料　年額四千六百八十円（割引き額百二十円）

なお、国民年金に強制加入の方で、保険料を納めることが困難なひとは、保険料免除の制度がありますので、くわしいことは、国民年金課保険料係に問合せてください。

●保険料の納め忘れはありませんか

国民年金の保険料の納め忘れはありませんか。

昭和五十四・五十五年度分の保険料の納め忘れがありましたら、お早めに納めてください。

保険料を納め忘れていると、万一事故があったとき、障害年金や母子年金（これらは、最近の一年以上、保険料を納めていることが必要）などが受けられないこともあります。

また、将来、老齢年金さえ受けられなくなることもあります。

納め忘れがないかどうか、もう一度調べてみましょう。

問合せ　国民年金課

健康維持と体力向上に

はつらつ体操教室

日頃運動する機会の少ないひとに、家庭でも手軽にできる体操を紹介しながら健康維持と体力の向上をめざしていくものです。

とき　四月八日から五月十三日までの毎週水曜日（祝日は除く）延五回、午後二時から四時まで

ところ　総合体育館主競技場

参加できるひと　区内在住で五十歳から七十歳位までの健康なひと

定員　五十名

参加費　無料

申込み・問合せ　電話または直接総合体育館（☎256－八四四四）の窓口へ。

ご存じですか？
心身に障害があるひとの自動車使用優遇制度

ことしは、障害をもつひとの社会への「完全参加と平等」をテーマにした「国際障害者年」です。

そこで、体の不自由な方のために行っているいろいろな援助の中から、今回は、心身に障害がある方のための自動車使用にあたっての優遇制度をご紹介します。

＊

心身障害者の方が日常生活の行動範囲を拡げるために、自動車を運転したり利用する場合などには、つぎのような優遇制度があります。

自動車物品税の免除

免除をうけられる自動車

二千cc以下の小型乗用自動車で、心身障害者の方か、または、生計を伴にする方が障害者のために使用することを目的に購入するもの

対象となるひと

身体障害者の方（機能障害別等級によって対象範囲が異なります）か、愛の手帳一～二度の精神薄弱の方

申込み・問合せ

福祉事務所（区役所二階）

自動車運転免許取得費の補助

対象となるひと

運転免許の適性試験に合格した身体障害者手帳一～三級までのひと（ただし、内部障害は四級以上、下肢または体幹機能障害は五級以上で歩行が困難な方も対象）で、引続き三か月以上区内に住み、前年の所得税が四十万円以下であること

補助限度額　十一万円

申込み・問合せ　厚生部福祉課

自動車改造費の助成

対象となるひと

身体障害者手帳の交付を受けている低所得世帯に属する下肢または体幹機能障害者の方で、就労などで自分が所有し運転する自動車の操向装置や、駆動装置などの一部を改造する必要があるひと

助成限度額　十万円

申込み・問合せ　福祉事務所

有料道路通行料金の割引

対象となる自動車

下肢または体幹機能障害の身体障害者手帳を持っているひとが自分で運転する乗用自動車で、本人または、生計を伴にするひとが所有する車（ただし営業用を除く）

割引額　一般料金の五十割引

申込み・問合せ　福祉事務所

駐車禁止等除外車両標章の交付

対象となる自動車

①身体障害者手帳を持っているひとで、歩行の困難なひとが自分で運転する車と、家族などが歩行障害者の方を同乗させて運転する車（障害の程度は、おおむね下肢障害四級以上、体幹、内部障害三級以上、視覚障害二級以上）

②原則として、愛の手帳一～二度のひとが使用する車

申込み・問合せ　①は居住する警察署、②は警視庁交通部駐車対策課（☎581－四三二一内線三三八〇）

ことしは 国際障害者年

障害をもつ人の社会への完全参加と平等

表彰された各界功労者と優良従業員

三月十六日、千代田区公会堂で千代田区三十四周年記念表彰式が行われ、いろいろな分野で区政に功労のあった二百七十九人の方と四つの団体が表彰されました。

また、三月十七日には、区内の商店、事業所などに勤めている従業員四百四十三人の方が、優良従業員として表彰されました。

区政三十四周年で表彰された方々

（敬称略）

■特別区政功労者

区議会議員　中川孝夫

■区政功労者

区議会議員　鎌倉勤

〃　桜井潔

〃　竹内信治

〃　中山寛

〃　早川護正

〃　水野浦治郎

〃　野口つた子

〃　仙石晴一

〃　渡辺孝

法律相談員　久々湊與一郎

〃　鈴木圭一郎

人権擁護委員　原田直翁

〃　帆刈弘

高額寄付者　緒方祥二

〃　川上篤行

〃　川上トヨ

〃　松沢猛

〃　谷澤清吉

〃　河原宗次郎

〃　小林昌治

〃　小幡志良

〃　片岡志づゑ

高額寄付者　塩味政一

〃　太田茂

〃　立岩邦男

〃　清瀬信次郎

〃　田村要

〃　飯塚健治

〃　水野正雄

〃　勝山恵三

■町会自治功労者

番町出張所地区連合町会長会長　西村宏一

大手・丸の内町会会長　渡辺武次郎

有楽町町会副会長　築山正夫

平河町二丁目町会会長　南山金太郎

麹町二丁目町会会長　宮克己

麹町三丁目町会副会長　根岸幸三郎

麹町三丁目町会婦人部長　藤井とめ

麹町六丁目町会婦人部長　小林實榮子

四番町町会会長　山名勇

九段四丁目町会副会長　野坂勝太郎

九段四丁目町会婦人部長　佐藤けい子

富士見二丁目町会町会長　森北常雄

富士見二丁目町会福祉会長　稲垣正一

飯田橋町会婦人部長　武井鈴子

神保町地区町会連合会婦人部副部長　山内清子

神保町一丁目町会副会長　髙井米昨

神保町一丁目北部町会副会長　斉藤サト

神西町会副会長　金子鎭

前北神町会町会長　早川善通

西神田町会交通部長　岸田壽三郎

西神田三丁目町会副会長　瀧田三吉

三崎町一丁目町会副会長　松岡勇作

三崎町町会副会長　西角清忠

猿楽町町会副会長　小宅芳郎

一神町会副会長　仙波栄次

錦町一丁目町会副会長兼会計　大島一男

小川町三丁目南部町会会長　神部愛吾

内神田美土代町会会長　吉田實

旭町町会副会長　山本末吉

多町一丁目町会副会長　奥村嘉一

神田鍛冶三会副会長　古川賢治

淡路町二丁目町会副会長　市瀬欣一郎

須田町中部町会副会長　野本利勝

須田町北部町会副会長　竹内信治

外神田旅籠町会副会長　増田貫二

外神田三丁目金沢副会長　木幡仁

神台会婦人部長　平田マサ

外神田四丁目代会副会長　森山芳子

外神田四丁目松富会副会長兼婦人部長　金澤澄子

千代田区東部町会連合会会長　惠本節次

昭和町会副町会長　宮塚清次郎

北乗物町町会副会長　成田源一郎

須田町二丁目町会副会長　柴田富男

岩本町二丁目岩井会副町会長　林清子

岩本町一丁目町会副会長　越田喜三郎

東神田町会副会長　小要利雄

東神田町会副町会長　伊部三井

佐久二平河町会副町会長　渡邉新太郎

東神田三丁目町会副町会長　石井栄一郎

練塀町町会副会長　平井貞男

■教育功労者

〔学校保健衛生〕

今川小学校内科医　丸山萬

番町小学校内科医　小林泰而

芳林小学校眼科医　森山知英郎

神田小学校耳鼻咽喉科医　後藤博一

富士見小学校歯科医　森野武夫

錦華小学校歯科医　三浦虎雄

西神田小学校歯科医　伊東健蔵

麹町小学校薬剤師　都築喜市

佐久間小学校薬剤師　持田豊

〔社会体育〕

千代田区体育指導委員　鈴木百合子

〃　池田新二

〃　花島昭

〃　中宗洋子

〃　早崎雄二

千代田区釣友連盟会長　細田昌靖

千代田区レクリエーション協会副理事長　広橋雅子

千代田区柔道会理事長　女川彌一郎

千代田区バスケットボール協会理事　安田満

千代田区相撲連盟常任理事　田中偉雄

千代田区バドミントン協会副会長　井上百合子

千代田区立総合体育館指導員　栗田光憲

〃　森田雅敏

〃　長浜康郎

〃　上田政男

〃　陰山高之

〃　溝呂木攻

〃　関達夫

〃　片山輝夫

〃　山崎泰永

〃　木口万里子

トレーニングルーム指導員　赤間秀夫

少年野球育成者　佐甲義治

〃　高野栄次郎

〔社会教育〕

千代田区郷土資料調査員　緒方孝太郎

千代田区青少年委員　三輪瑛子

千代田区海洋少年団教官　太巻光俊

千代田区ジュニアスキースポーツ少年団　菅沼清

〃　佐藤雅子

千代田区青年団体協議会　玉井大八郎

〃　土屋邦仁

千代田区婦人学習グループ連絡会委員代表　鈴木晴子

〃　西川和江

千代田区立社会教育会館教養講座講師　滝上幸子

〃　小泉守邦

〃　野村幸子

千代田区立社会教育会館社会教育指導員　斎藤貞一

〃　畑山健八

〔私学振興〕

上智社会福祉専門学校校長　ハヴィエル・ガラルダ

池坊お茶の水学院学院長　池坊保子

■商工観光功労者

〔商　工〕

千代田区商店街連合会副会長　都築賢二

千代田区商店街連合会監査役　帆刈幸造

千代田区商店街連合会理事　森泉仁

千代田区工業団体連合会理事　松田平吉

東京製本組合神田支部理事　浅原安

雑誌部会会長　清水輝夫

神田紳士服専門店組合相談役　奈良一郎

東京都食肉環境衛生同業組合神田支部長　富田延夫

東京都食肉環境衛生同業組合神田支部副支部長　島村勝

東京都魚商業協同組合麹町支部長　岡輝雄

東京都魚商業協同組合神田支部副支部長　鈴木森治

東京都青果物商業協同組合麹町支部理事　中島栄三郎

東京都青果物商業協同組合神田支部理事　丸山正治

麹町米穀小売商組合副組合長　岡田金吾

神田米穀小売商組合理事　水戸睦治

〔観　光〕

千代田区観光協会理事　内田栄次郎

〃　田中早苗

■社会福祉功労者

民生・児童委員　渡邊喜一郎

〃　名古路ゆき江

〃　保科孝一

千代田区保護司　吉田聖一

〃　牧多満

〃　藤ノ木伊代

〃　八木孝三

千代田区更生保護婦人会理事　湯浅初子

千代田区社会福祉協議会副会長　須田政之輔

千代田区心身障害者共助会総務部長　野坂勝太郎
千代田区心身障害者共助会心身障害者部副部長　原チヨノ
千代田区心身障害者共助会広報部長　藤平岩男
千代田区心身障害者共助会厚生部副部長　昆正八
東京都精神薄弱者相談員　水野カキワ
前千代田区家庭相談員　澤田静枝
麹町長寿会世話役　小川兼二郎
神保町地区長寿会副会長　山田音七
前老人福祉センター（故）鈴木容一　老人福祉七人委員会　講習会講師　小島房枝
丸の内地区青少年補導連絡会理事　勝田寛一
青少年補導連絡会委員　鈴木正敏
丸の内地区青少年補導連絡会委員　藤本まきの
鈴木重行
神田地区青少年補導連絡会委員　村瀬千代子
自立更正者　秋本せいま　海口はま

■環境美化功労者

環境美化推進員幹事　木村義一
〃　斉藤政吉
〃　小林幹知
〃　松崎昌次郎
〃　村上良胤
伊藤孝一
村松好彦

■事務事業協力者

統計調査事務協力者　野坂勝太郎
〃　横尾清一
〃　平島憲道
〃　田代周三郎
〃　原田豊子

統計調査事務協力者　奥津清
〃　村井静男
〃　青山清春
〃　幅栄作
〃　茂木林治郎
〃　浅生志も
〃　高井米昨
〃　見岡光男
〃　山口正一
〃　大河原久
〃　伊藤孝一
〃　平田成和
〃　嶋津正信
〃　久保正夫
選挙事務協力者　桑原慶一
〃　家辺長治
〃　寺田由孝
〃　小嶋和一
〃　南部武士
〃　進藤龍一
〃　福石敏男
〃　根岸信治
〃　小林良子
〃　林悳
〃　西郷之厚

■納税功労者

錦町二丁目納税貯蓄組合組合長　和田義孝
神田第六納税貯蓄組合組合長　久保田喜三郎
麹町芙納会納税貯蓄組合組合長　内田安孝
神田たばこ納税貯蓄組合組合長　岩瀬栄一
司町二丁目納税貯蓄組合長　古川三佐男
麹町旅館納税貯蓄組合組合長　佐藤君江
飯田町二丁目納税貯蓄組合組合長　浅生清
神田青色第一納税貯蓄組合組合長　土屋格治
北東物町納税貯蓄組合組合長　太田茂
千代田区都市計画審議会副会長　山崎賢一
千代田区都市計画審議会委員　前田尚美
〃　西村宏一
〃　桜井潔
〃　林悳
〃　西郷之厚
〃　村山よしふ
〃　柴田のぶ
〃　福石敏男
〃　進藤龍一
〃　南部武士
〃　小嶋和一
〃　寺田由孝
〃　家辺長治
〃　桑原慶一
〃　久保正夫
〃　嶋津正信
〃　平田成和
〃　伊藤孝一
〃　大河原久
〃　山口正一
〃　見岡光男
〃　中村行雄
〃　高井米昨
〃　浅生志も
〃　茂木林治郎
〃　幅栄作
〃　青山清春
〃　村井静男

麹町飲食納税貯蓄組合組合長　久保田悟
神田第四納税貯蓄組合組合長　松本秀三
錦町二丁目納税貯蓄組合組合長　下采文男

■保健衛生功労者

千代田区医師会理事　船津弘幸
神田医師会理事　隠岐悦宏
公衆衛生協力医　江崎唯人
〃　山梨はな
〃　坂元佐多子
〃　小島嘉男
〃　てう
〃　森田ナツ
〃　田中久
〃　小要利雄
〃　斉藤政吉
〃　小林良子
〃　大森寂圓
〃　庄造
〃　三郎
〃　遠藤庄造
〃　松沢三郎
〃　松本秀三
〃　下采文男
〃　船津弘幸
〃　隠岐悦宏
〃　江崎唯人
〃　山梨はな
〃　坂元佐多子
〃　小島嘉男
〃　てう
〃　森田ナツ
〃　田中久
〃　小要利雄
〃　斉藤政吉
〃　小林良子
〃　大森寂圓
〃　庄造
〃　三郎
〃　遠藤庄造
〃　松沢三郎

麹町飲食納税貯蓄組合　久保田悟
神田第四納税貯蓄組合　松本秀三
錦町二丁目納税貯蓄組合　下采文男

■消防団功労者

丸の内消防団班長　石原信一
丸の内消防団員　山岡佑吉
〃　荒木公美
〃　田邊東男
丸の内消防団班長　曽根二男
丸の内消防団員　小助川恭一
〃　森川淳二
〃　藤田正行
〃　成沢博行
〃　阿部和博
〃　今井秀雄
〃　村上敏郎
〃　川島義雄
〃　芹澤房之輔
〃　池田武勇
〃　長沢和子
〃　金子新太郎
〃　辻俊子
〃　飯野昭雄
〃　佐々木英男
〃　東戸理吉
〃　新田敏夫
〃　東條英雄
〃　池谷文夫
〃　横尾三郎
〃　今成孝子
〃　山石新平
〃　本田忠康
〃　上本健治
〃　中鉢久三
〃　北林正名
〃　武田清久
〃　今成清
〃　横尾雄
〃　本田信司
〃　上本勇
〃　若林二
〃　荻原祥
〃　浜田房造
〃　遠藤政雄
〃　伊藤信次
〃　高野俊広
〃　池谷金孝
〃　塩島誠
〃　遠藤治雄
〃　横坂宏
〃　高野正
〃　山田耕平
〃　市川すみ子
〃　根岸信義
〃　勝永光子
〃　山石孝子
〃　三浦秀夫
〃　大久保光男
〃　今成清
〃　横尾雄
〃　本田信司
〃　上本勇
〃　若林二
〃　荻原祥
〃　浜田房造
〃　遠藤政雄
〃　伊藤信次
〃　高野俊広
〃　池谷金孝
〃　塩島誠
〃　遠藤治雄
〃　横坂宏
〃　高野正
〃　山田耕平
〃　市川すみ子
〃　根岸信義
〃　勝永光子
〃　三浦秀夫
〃　大久保光男
〃　山石孝子
〃　中鉢久三
〃　北林正名
〃　武田清久

吉川千代子　杉田屋印刷(株)　竹之内善樹　(株)九段ふく源　市丸博利
中廣隆男　〃　菅原重志　(株)栃木屋　柳信子　丸の内会館(株)　松本啓司
矢野勝康　〃　加納弘子　〃　芦野奈美子　丸の内精養軒　曽祇健樹
小久保八郎　〃　中山栄太郎　〃　坪田とき子　〃　中本智恵子
金高弘治　(株)加藤文明社印刷所　高橋武夫　アメリカンファーマシー　松田利根男　高松　田中スミ子
富沢すみ子　〃　遠藤秋雄　緑松堂図書(株)　小吹安信　〃　北沢加世子
鈴木久美子　〃　後藤敦則　大雲堂書店　新井修　(株)カラーテック　高橋精
小林英男　(株)精興社　町田良治　(株)原信　川上和敏　〃　畠山章
佐藤滋　(株)光洋舎　横尾政義　(株)文秀堂　寺館伸彦
金子安太郎　〃　中村勉　(有)小高酒店　高田春行　〃　熊野秀治
大崎真一　〃　伊藤博通　(有)深山青果店　北川清雄　満る賀　横山照一
吉村一　〃　河村昇　(株)文会堂　吉川順一郎　〃　倉富保
高橋憲次　〃　佐藤忠雄　〃　佐藤清　甲南包装工業(株)　伊東勇
植松重夫　(株)集美堂　大川一郎　(有)三共電機商会　今津寿昭　(株)花省　鈴木二三男　丸の内新聞事業(協)　川島修司
魚津祐二　〃　大森三仁　イワサン産業　若松賢次　(株)内野商店　斎藤フヨ　(株)旭堂　深井孝七七智
大館恵人　〃　瓦井正克　(株)北沢書店　杉山とも子　養老の滝　小柴幸子　ときや和洋食堂　松本芳子
郡司健三　東洋美術印刷(株)　植原茂樹　(有)日本特価書籍小売部　長島清　〃　林徳富　(株)萬力屋　菅野弘子
堀口好彦　〃　松下弘子　(資)山田書店　大内健一　イガラシカメラ　猿山弘子　(株)天野商店　鈴木秋男
原田誠　三容堂印刷(株)　奥地歌子　(株)西岡洋服店　泉尚信　レストランアラスカ　叶内晃　東群トラック(株)　井田俊男
高桑宮子　〃　三角貞彦　文明堂新大手町ビル店　土屋重夫　神田営業所　藤井憲正　(有)比護事務器工作所　比護哲也
矢沢源蔵　〃　宮山淳　(株)高田已之助商店　有馬要　〃　横山光明　(株)三興商会　重野豊実
永井孝良　(株)ナショナルプレス　玉木吉治　〃　遠藤三郎　相沢羅紗店　刑部末男　(有)橘鉄工所　波形豊作
早坂寛志　(有)映文社　斎藤忠雄　〃　本多春夫　(株)千代田建設　成田昇　佐貞商事(株)　金子久四郎
野坂政春　〃　谷合義則　〃　斉藤勉　(有)西谷塗装店　大木健次　(株)三橋　関根聖司
富田稔　(株)東進商会　黒田良子　丸一ゴム工業(株)　小松輝雄　更科丸屋　田村哲司
腰越真治　〃　大野裕司　藤川伝導機(株)　国分五郎　帝国アスベスト工業(株)　幸田正
〃　〃　倉敷印刷(株)　今井哲　(有)明美商会　水野駒吉　山崎物産(株)　山田正孝
〃　〃　〃　〃　赤津節子　(株)丸星コピーセンター　小川純一　日建産業(株)　山下良子
(株)真珠社　〃　〃　〃　武田八重子　〃　立石力　〃　山田正明
〃　〃　〃　〃　〃　(資)タカラヤ宝飾店　山西直二　〃　遠藤利信
新村印刷(株)　〃　〃　〃　〃　(株)ニュートーキョー丸ビル店　吉田恭子　(株)丸二　佐藤次乃　〃　竹村静江
佐藤栄吉　〃　〃　〃　〃　〃　長谷川元美　(株)久保田鉄工所　〃　〃　井田俊男
林俊男　〃　〃　〃　〃　(株)銀杏堂　橋本開　〃　〃　(株)和業商会　〃　内藤清隆
山口平　〃　〃　〃　〃　(株)サンライフ丸ビル店　岡潤一　長寿庵　中島すずえ　〃　〃
〃　〃　〃　〃　〃　(株)高田已之助商店　松原芳子　朝日新聞麹町販売所　大坪和久　(株)佐藤工業所　初山励子
〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃　宮下商事(株)　牧野かね子　(株)神田まつや　大沢静夫
杉田屋印刷(株)　〃　〃　〃　〃　文明堂日本ビル店　石川宗臣　二引石油工業(株)　大村欽一郎　シンノオル電機(株)　白井朋夫
〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃　淡路町給油所　斎藤誠　〃　伊藤雅章
奥村印刷(株)　〃　〃　〃　〃　〃　田辺栄一　(株)ニュートーキョー丸ビル店　成和(株)　浅野賢二　〃　原田達也
〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃　文明堂日本ビル店　〃　〃　岩瀬幸男　小川モーター(株)
杉田屋印刷(株)　〃　〃　〃　〃　〃　篠原利男　〃　〃　〃　〃　〃
〃　〃　〃　〃　〃　〃　船田克己　〃　〃　〃　〃　〃
〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃